

□議員名：中岡 英二

## 1 市場の今後の取り組みについて

論点	年々地方卸売市場の取扱数量が減っているが、その原因と今後の対策はどうしていくのか。
回答	平成 30 年 6 月 14 日より、ある出荷者との取引を中止した事、及び本市が抱えている様々な問題、課題により、取引先からの信頼が低下した事が原因。新たな産地を開拓し、問題の早期解決により信用回復に努めたい。

論点	市場の管理運営上、大事な売掛金・買掛金・差入保証金の推移について減少させていく施策はあるのか。
回答	売掛金・買掛金を減らしていくには、新たな規約をつくり取締役会議で協議していく。差入保証金についても、取締役会議で協議し解決に向けて努力していく。

## 2 本山岬公園と竜王山公園の今後の取り組みについて問う

論点	くぐり岩周辺の今後の環境整備と PR について問う
回答	昨年の山口ゆめ花博において本市の PR パネルで紹介され、又、厚狭駅でもパネルを設置し観光客が増えている。「道が分かりにくい」という事もあり、県道からの案内板を設置したい。将来的には、狭い道路の解消・駐車場やトイレの整備を考えていきたい。

論点	竜王山の今後の自然環境整備と PR について問う
回答	山野草・ヒメボタル・アサギマダラ等が見られる自然の宝庫であり適正に管理していきたい。ソメイヨシノがほとんどの桜だが、テングス病にやられ、枝切りや根元から伐採するケースもある。テングス病に強いエドヒガンに植え替えていきたい。

### 3 花によるまちづくりについて問う

論点	花壇コンクールのこれからの取り組みについて問う
回答	本市では、花の育成を通じて地域との結びつきが強まり、市内に沢山の花が咲いて、華やかで明るいまちになる事を目指して花いっぱい運動を進めている。春・秋の花壇コンクールも、この一環である。ここ数年、参加者も横ばいで、参加申込書の簡素化などして参加者を増やしていきたい。

### 4 オレンジ月間の取り組みについて問う

論点	ハロウィンイベントについて問う
回答	この事業は、市のイメージカラーであるオレンジとの親和性が高く若者に人気のハロウィンに着目し、官民一体になってオレンジやハロウィンを演出し本市の魅力を PR するイベントで、本市の認知度の向上や交流人口の増加・観光消費額の拡大を図るものである。本市に対する誇りや愛着を持ち、観光交流の風土づくりを目的としている。

※一般質問(代表質問)における論点について、わかりやすくまとめる。

文字は 12 ポイントで統一し、ひとり 3 枚以内とする。

1 つの論点と回答につき、論点は 2 行程度、回答は 4 行程度とする。